

# 日本語課外補講報告（2007年4月～2008年3月）

濱田美和

## 1 はじめに

日本語課外補講は、富山大学に在籍する外国人留学生及び外国人研究者であれば誰でも受講できるプログラムである。日常生活や大学での学習・研究活動に必要な日本語の習得を目指して、初級、中級、上級の3つのレベル別クラス、及び、中級・上級クラスの共通科目「漢字」を開講している。2007年度は、前期（2007年4月～9月）と後期（2007年10月～2008年3月）にそれぞれ15週間開講した。

以下、2007年度の日本語課外補講の実施状況について報告する。なお、2005年10月に富山大学（五福キャンパス）、富山医科薬科大学（杉谷キャンパス）、高岡短期大学（高岡キャンパス）の3大学が再編・統合したことにより、富山大学で実施されている日本語課外補講は、五福キャンパスにおいて留学生センターが実施するものと、杉谷キャンパスにおいて医学部所属の日本語・日本事情担当教員が中心となり実施するものとの2つとなったが、本稿では、五福キャンパスで留学生センターが実施している日本語課外補講について報告する。

## 2 受講者

前期の受講者は、初級クラスが7人、中級クラスが16人、上級クラスが31人だった。後期の受講者は、初級クラスが9人、中級クラスが6人、上級クラスが26人だった。

2007年度は、前期と後期をあわせて、外国人留学生73人（大学院生25人、研究生17人、特別聴講学生15人、日本語・日本文化研修留学生7人、特別研究学生、科目等履修生各4人、学部生1人）、及び、外国人客員研究員1人、計74人が日本語課外補講を受講している。なお、日本語・日本文化研修留学生、及び、協定校からの短期留学生については、日本語課外補講上級クラスで開講している科目を、総合日本語コースの科目として受講している（詳細は、総合日本語コース報告、短期留学生報告を参照）。

74人の国・地域別の内訳は、中国53人、韓国9人、ロシア5人、イタリア、インドネシア、ウズベキスタン、タイ、フィンランド、ハンガリー、マレーシア各1人となっている。また、所属別の内訳は、人文学部21人、理工学教育部17人、経済学部8人、工学部7人、経済学研究科、生命融合科学教育部各5人、人間発達科学部4人、理学部3人、教育学研究科、理工学研究科、和漢薬総合研究所、高岡短期大学部各1人となっている。

## 3 授業担当者

前期、後期ともに、センター専任教員2人（加藤扶久美、濱田美和）、及び謝金講師（日本語研修コースとの合同授業については非常勤講師）9人（岩本阿由美、遠藤祥子、高島智美、中河和子、永山香織、深川美帆、藤田佐和子、松岡裕見子、横堀慶子）が授業を担当した。濱田美和がコーディネートをを行った。

## 4 授業日程

前期は4月12日（木）～7月31日（火）を授業期間としたが、7月2日（月）～7月4日（水）の間、麻疹対応のために全学臨時休講となった。この休講分の補講を実施するため、スケジュールの調整を行い、8月1日（水）～3日（金）にも授業を行った。

後期は10月12日（金）～2月13日（水）を授業期間とした。12月25日（火）～1月4日（金）は冬季休業、1月18日（金）は大学入試センター試験準備日のため、休講とした。

学期ごとに、留学生センター専任教員5人（出原節子、加藤扶久美、後藤寛樹、濱田美和、深澤のぞ

み)がオリエンテーションを行った。前期は4月11日(水)、後期は10月11日(木)にオリエンテーションを開催した。オリエンテーションの案内は、留学生センターのホームページに掲載する他、日本語、英語、中国語の3カ国語表記で作成したポスターを五福キャンパス内の各学部及び留学生センター談話室に掲示し、また、学期初めに発行される留学生センターニュースの掲示板でも紹介した。留学生センターのホームページでは、時間割や授業概要の閲覧、それから、受講申請書とふりがな入りの時間割もPDFファイルとしてダウンロードできるようになっている。オリエンテーションでは、受講希望者一人一人とセンター専任教員が面接し、受講者の日本語の習熟度に応じたクラスを紹介し、受講申請書の提出により、登録を行った。ただし、来日時期が遅れる学生等については、コーディネーターが面接を行った上で、開講期間の途中からの受講も認めた。

## 5 授業内容

### 5.1 時間割

前期、後期ともに週25コマ授業を行った。2007年度の時間割は表1の通りである。

表1 2007年度前・後期 日本語課外補講時間割

曜	限	初級クラス	中級クラス	上級クラス
月	1	文法(岩本)	文法II(松岡)	
	2	文法(岩本)	文法II(松岡)	聴解(深川)
火	1	文法(加藤)	聴解(濱田)	
	2	文法(加藤)		コンピュータによる作文(松岡)
	3	聴解(濱田)		会話(松岡)
	4			読解I(藤田)
水	1	文法(遠藤)	文法I(永山)	
	2	文法(遠藤)	文法I(永山)	
	3			読解II(遠藤)
	4			日本文化(中河)
木	1	文法(高島)	文法II(岩本)	
	2	文法(高島)	文法II(岩本)	
	3		[中級・上級クラス共通]漢字(高島)	
金	1	文法(横堀)		
	2	文法(横堀)		

\* 1限 8:45～10:15, 2限 10:30～12:00, 3限 13:00～14:30, 4限 14:45～16:15

\* 網掛けの授業科目は、日本語研修コースとの合同授業

### 5.2 初級クラスの授業内容

前期、後期ともに、月曜日から金曜日まで毎日午前中2コマの「文法」の授業と午後1コマ「聴解」の授業を行った。なお、後期については、毎日日本語の授業に出席することが困難な学生のために、週2コマ(月曜日と水曜日の2限)の別クラスを設け、その時間、他の学生は日本語研修コースのクラスに参加させた。

週10コマの「文法」の授業では、『みんなの日本語 初級』I, II(スリーエーネットワーク)をメインテキストとして、テキストを1日1課ないしは2日に1課のペースで初級文型の導入及びその定着のための練習を行った。授業の最初に、『毎日の発音練習』(独自開発教材)を用いた発音練習も適宜取り入れた。また、『留学生のための毎日のKANJI』Vol. 1(独自開発教材)を用いて、第5週から週

2～3回、1回に6字、計120字の漢字を導入した。

表2 初級クラス「文法」(『みんなの日本語 初級』)の授業進度

第1週	1課～4課		第9週	30課～32課	
第2週	5課～7課	1課～6課試験	第10週	33課～35課	26課～32課試験
第3週	8課～11課		第11週	36課～38課	
第4週	12課～14課	7課～12課試験	第12週	39課～41課	33課～38課試験
第5週	15課～18課		第13週	42課～45課	
第6週	19課～22課	13課～18課試験	第14週	46課～48課	39課～45課試験
第7週	23課～26課		第15週	49課～50課 復習	日本語能力試験 3級模擬試験
第8週	27課～29課	19課～25課試験			

後期に特別に設けた週2コマの「文法」の授業では、『JAPANESE FOR BUSY PEOPLE』I(講談社インターナショナル)をメインテキストとして、1日の授業で1課進むペースで初級文型の導入及び会話力を伸ばすための練習を中心に行った。

「聴解」の授業では、前期は受講者が初級後半レベルで、文法を不得手とする学生であったため、授業内容を変更し、『どんなときどう使う日本語表現文型200 初・中級』(アルク)を用い、主として文法の確認を行った。後期は、『毎日の聞き取り50日』上、下(凡人社)、『絵とタスクで学ぶ日本語』(凡人社)、『わくわく文法リスニング99』(凡人社)、『楽しく聞こう』I, II(凡人社)、『日本語きいてはなして』Vol. 1, Vol. 2(ジャパントイムズ)、『Situational Functional Japanese』Vol. 1, Vol. 2, Vol. 3(凡人社)のテープを用い、初級クラス「文法」(『みんなの日本語 初級』)の授業進度に合わせて、聴解練習を中心に行った。

### 5.3 中級クラスの授業内容

前期、後期ともに、週3日、午前中2コマの「文法」の授業と、1コマの「聴解」の授業を行った。

「文法I」の授業では、『中級へ行こう 日本語の表現と文型59』(スリーエーネットワーク)をテキストとして、1日(2コマ)の授業で1課進むペースで、中級の文法事項を習得するとともに会話や作文の練習なども行った。

「文法II」の授業では、『ジェイ・ブリッジ』(凡人社)をテキストとして、3日(6コマ)の授業で1課進むペースで、中級の文法事項を習得し、それらを大学生活で遭遇する場面や様々なトピックに合わせて、運用できるよう会話練習なども行った。

「聴解」の授業では、前期は『毎日の聞き取り50日 中級』上(凡人社)、後期は『新・毎日の聞き取り50日 中級』上(凡人社)をテキストとして、1回の授業で2課進むペースで聴解練習をするとともに、『留学生のための毎日のKANJI』Vol. 2(独自開発教材)を用いて、語彙・漢字の確認のための小テストを毎回の授業で実施した。

### 5.4 上級クラスの授業内容

前期、後期ともに、「読解」の授業を週2コマ、「コンピュータによる作文」、「聴解」、「会話」、「日本文化」の授業をそれぞれ週1コマ行った。

「読解」の授業は、「読解I」と「読解II」の2科目を設け、「読解I」は『生きた素材で学ぶ中級から上級への日本語』(ジャパントイムズ)をテキストとし、発音の指導、表現や文型練習なども取り入れながら読解練習を行った。学期ごとにテキストの奇数ユニット、偶数ユニットに分け、2期続けて受

講すると、テキストを全て終わらせるようになっている。「読解 II」は、専門書の他に、現代日本社会の問題を扱った新聞記事、文学作品、教養書などの生教材を利用し、初めに論理構成を把握させ、効率的な読みの練習を心がけた。ブックレポート作成の練習も行った。

「コンピュータによる作文」の授業では、コンピュータを使用しながら、レポートや論文を書く際に必要となる論理的な文章の書き方の練習を行った。『大学・大学院留学生の日本語 2 作成編』（アルク）、『大学・大学院留学生の日本語 4 論文作成編』（アルク）を参考書とし、練習問題等はワープロ文書で提供した。

「聴解」の授業では、日本語の聴解教材とあわせて、テレビやラジオ、インターネットなど、様々なメディアを用いて、大学生活や日常生活に必要な聴解練習を行った。

「会話」の授業では、ロールプレイを通しての会話練習を中心に、大学生活や日常生活で出会う場面、状況での会話力を伸ばす練習を行った。また、アカデミック・ジャパニーズに必要なスピーチや討論の基礎力をつけた。

「日本文化」の授業では、テレビ番組、アニメ映画、漫画、新聞・雑誌記事、自治体広報などの様々なメディアを通じて、教育、仕事への意識、ジェンダー、ポップカルチャーといった現代日本社会の問題を考えた。

## 5.5 中級・上級クラス共通科目「漢字」の授業内容

「漢字」は、中級・上級クラスの共通科目として、前期、後期ともに週1コマ授業を行った。テキストには『BASIC KANJI BOOK』Vol. 1, Vol. 2, 『INTERMEDIATE KANJI BOOK』Vol. 1, Vol. 2（凡人社）を使用した。非漢字圏の学生には、読み方、書き方及び意味・用法の全体的な指導を行い、漢字圏の学生には、読み方と意味・用法の確認を中心に、長文の中の漢字を理解するための練習も行った。様々なレベルの学習者がいるため、一斉授業ではなく、時間を区切ってそれぞれのレベルに合わせた指導を行っている。前期は、レベル別指導のサポートのために、人文学部3年生の上野理紗さんにアシスタントとして授業に参加してもらった。また、毎回の授業で、定着のための確認テストを行った。

## 6 試験

初級クラスでは、7回の定期試験と最後に日本語能力試験3級の模擬試験を実施した。定期試験の内容は、筆記試験、会話試験（前期のみ）、聴解試験で、いずれの試験も日本語研修コース初級クラスと同じものを使用し、試験日は日本語研修コースの授業担当者と協力しながら実施した。中級クラスでは、「文法 I」と「聴解」では期末試験のみを実施し、「文法 II」では中間試験と期末試験の2回の定期試験を実施した。上級クラスでは、毎週出席できない受講者もいるため、期末試験は授業科目ごとに実施するかどうかを決めている。2007年度は「読解 I」「聴解」「会話」及び中級・上級クラスの共通科目「漢字」の授業で期末試験を実施した。試験を実施しない授業科目においても、授業担当者が授業中の学生の様子をもとに、コース終了時の日本語力を、使用教材のレベルに即して5段階評価で記録している。

## 7 授業評価

日本語課外補講の受講者に対して、授業内容とカリキュラムに関するアンケート調査を前期と後期の授業期間中に実施した。授業内容に関するアンケートはクラス別に集計し、カリキュラムに関するアンケートは回答者全員分をまとめて集計した。

授業内容に関するアンケートの実施方法はクラスにより少し異なる。初級クラスについては、聴解の授業は文法の授業と関連させ、文法の授業で導入した文型の応用、復習のための聴解練習を行ったため、初級クラスの授業を全てまとめた形でアンケートを実施した。中級クラス、上級クラス、中級・上級クラスの共通科目「漢字」については、各科目で異なるテキストを用い、全ての科目を取らない学生も多

いため、科目ごとにアンケートを実施した。文法の授業は複数の教員が担当しているが、授業内容、レベル、教科書は同じであるため、まとめて実施した。表3に前期初級クラス、表4に前期中級クラス、表5に前期上級クラス、表6に後期初級クラス、表7に後期中級クラス、表8に後期上級クラスの授業内容のアンケート集計結果をまとめた。中級・上級クラスの共通科目「漢字」は、上級クラスの受講者が多いため、上級クラスに入れて集計した。授業内容に関するアンケートでは、中級、上級クラスについては、1人の学生が複数の授業科目に答えているため、括弧内の人数はいずれも延べ人数を表す。評点は5段階評価で、値が大きいほど良い評点であることを示す。「とてもよかった」を5点、「よかった」を4点、「ふつう」を3点、「あまりよくなかった」を2点、「全然よくなかった」を1点として、その平均点を出したものである。

カリキュラムに関するアンケート調査は、1人の学生が1回のみ回答することになっている。表9に前期、表10に後期の結果をまとめた。

なお、自由記述については一部英語での回答もあったが、これについて筆者が日本語に翻訳した。また、日本語の表記や助詞等の間違いは修正して掲載した。

表3 前期初級クラスの授業内容についてのアンケート結果（回答者4人）

質問項目（回答者数）	評点	自由記述
1. 授業内容 とてもよかった（4人） よかった（0人） ふつう（0人） あまりよくなかった（0人） ぜんぜんよくなかった（0人）	5.0	・いろいろな話や文法や文化などを勉強したので、おもしろいと思います。（文法）
2. 授業のレベル ちょうどよかった（2人） よかった（1人） ふつう（1人） あまりよくなかった（0人） ぜんぜんよくなかった（0人）	4.3	
3. 授業の進度 ちょうどよかった（2人） よかった（2人） ふつう（0人） あまりよくなかった（0人） ぜんぜんよくなかった（0人）	4.5	
4. 教科書・プリント とてもよかった（4人） よかった（0人） ふつう（0人） あまりよくなかった（0人） ぜんぜんよくなかった（0人）	5.0	・一つの課が短くて良かった。（聴解）
5. 教え方 とてもよかった（4人） よかった（0人） ふつう（0人） あまりよくなかった（0人） ぜんぜんよくなかった（0人）	5.0	

6. どのくらい出席したか 80%～100% (3人) 60%～80% (1人) 40%～60% (0人) 20%～40% (0人) 0%～20% (0人)	—	欠席した理由 ・専門の授業やゼミがあったから (2人)
7. 予習・復習をしたか かなりした (1人) すこした (3人) ぜんぜんしなかった (0人)	—	・予習や復習をしたほうがいいと思います。(文法)

表4 前期中級クラスの授業内容についてのアンケート結果 (回答者 19人)

質問項目 (回答者数)	評点	自由記述
1. 授業内容 とてもよかった (7人) よかった (11人) ふつう (1人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.3	・生活に関することがちょっと少ない。(文法I) ・おもしろいです。(聴解) ・先生がとても親切です。学生がもし質問があったら、一般的にまじめに答えてくれます。本当にありがとうございます。ご苦労様です。(聴解)
2. 授業のレベル ちょうどよかった (6人) よかった (11人) ふつう (1人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人) 無回答 (1人)	4.3	
3. 授業の進度 ちょうどよかった (8人) よかった (9人) ふつう (1人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人) 無回答 (1人)	4.4	
4. 教科書・プリント とてもよかった (6人) よかった (11人) ふつう (1人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人) 無回答 (1人)	4.3	
5. 教え方 とてもよかった (15人) よかった (3人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人) 無回答 (1人)	4.8	・先生がやさしくて、教え方もおもしろくてよかった。(聴解)
6. どのくらい出席したか 80%～100% (16人) 60%～80% (2人) 40%～60% (1人) 20%～40% (0人) 0%～20% (0人)	—	欠席した理由 ・専門の授業やゼミがあったから (6人) ・アルバイトがあったから (1人)

7. 予習・復習をしたか かなりした(6人) すこした(13人) ぜんぜんしなかった(0人)	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復習は大切です。(文法 I)</li> <li>・私は今一番大切な勉強は、日本留学試験の準備です。そのため、予習と復習の両方は少し大変です。でも、私はできるだけ試験の復習をするようにしました。(聴解)</li> </ul>
---	---	---

その他

- ・日本の文化を理解したいので、ちょっとこれに関する内容が増えたほうがいいと思います。(文法 I)
- ・先生がとても真剣で、親切です。私は 2007 年度後期の授業も受けようと思います。(文法 I)
- ・私はこの授業を習い続けようと思います。もし後期にこの授業があったら、ぜひ来ることになります。授業のレベルはいいです。なお、先生の教え方は留学生に対してとても役立ちます。この授業の二人の先生は親切で、まじめな先生だと思います。(文法 II)
- ・もし今より日本の文化のことを多く扱ったら、授業がおもしろくなります。(文法 II)
- ・もう少し日本の映画やドラマなどを放映したほうがいいです。(聴解)
- ・私は必ず今後この授業に来て、聞き続けると思います。もっと勤勉に学習すると思います。この授業は日本語の進歩にとっても役立ちます。先生方みんなにとっても感謝します。(聴解)

表 5 前期上級クラスの授業内容についてのアンケート結果(回答者 31 人)

質問項目(回答者数)	評点	自由記述
1. 授業内容 とてもよかった(25人) よかった(6人) ふつう(0人) あまりよくなかった(0人) ぜんぜんよくなかった(0人)	4.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の話題が多くてよかった。今まで全くわからなかったこと(シックハウス症候群, セカンドライフなど)についてもいろいろ分かるようになってきた。(読解 II)</li> <li>・今まで勉強した内容は本当に役立つと思う。(作文)</li> <li>・ニュースや講義などについての内容を聞いてとても役に立ちました。(聴解)</li> <li>・よく使う語彙や会話などを教えてもらったので、よかったと思う。(会話)</li> </ul>
2. 授業のレベル ちょうどよかった(21人) よかった(7人) ふつう(3人) あまりよくなかった(0人) ぜんぜんよくなかった(0人)	4.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初はちょっと難しかったですが、ちゃんと予習するようになってからちょうどよくなりました。(読解 II)</li> <li>・私にとってはちょうどいいと思う。特に初めは基本知識から勉強して、徐々に難しくなるのがよかったと思う。(作文)</li> <li>・上級のレベルに合って、よかったと思う。(会話)</li> <li>・少し難しいところもあったけど、それもいい勉強になったかもしれない。(会話)</li> </ul>
3. 授業の進度 ちょうどよかった(18人) よかった(10人) ふつう(2人) あまりよくなかった(1人) ぜんぜんよくなかった(0人)	4.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生は話す速度や授業のペースがそんなにはやくないし、ゆっくり練習できると思う。(作文)</li> <li>・遅すぎた。ちょっと(文法的)講義部分を少なくして、あるいは早くして、もっと後の授業みたいな長い文章を多く書きたいです。(作文)</li> <li>・注意不足なので、時々速すぎでした。(会話)</li> </ul>
4. 教科書・プリント とてもよかった(19人) よかった(12人) ふつう(0人) あまりよくなかった(0人) ぜんぜんよくなかった(0人)	4.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常に面白いテキストを読んで、さらにそれを映像で見るのでありがたいです。(読解 II)</li> <li>・読み物と DVD を合わせて話題をやったのがよかったと思いました。(読解 II)</li> <li>・教科書があったら、もっといいと思う。(読解 II)</li> <li>・毎週決まったテーマで書くので混乱しないと思う。教材も循環的に続いていくから、よかったと思う。(作文)</li> <li>・練習や課題に使っている教科書などを知りたいです。(作文)</li> </ul>
5. 教え方 とてもよかった(26人) よかった(5人) ふつう(0人) あまりよくなかった(0人) ぜんぜんよくなかった(0人)	4.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生の話し方や教え方などがはっきりしているので、よかったと思う。(作文)</li> <li>・一人一人の長所、問題点を気づかせてくださって、ありがとうございます。(作文)</li> <li>・わかりやすいし、授業以外のことも教えてもらったので、とてもよかった。(会話)</li> <li>・色々なことについて説明して、学生のことはもやさしく直してくれて、一つの授業の中でも色々なトピックについて会話ができる。(会話)</li> </ul>

6. どのぐらい出席したか 80%～100% (21人) 60%～80% (9人) 40%～60% (0人) 20%～40% (1人) 0%～20% (0人)	—	欠席した理由 ・専門の授業やゼミがあったから (8人) ・アルバイトがあったから (2人) ・病気のため (2人) ・他の課題でちょっと忙しかった (1人) ・修了レポートを書いている (1人)
7. 予習・復習をしたか かなりした (10人) すこしした (16人) ぜんぜんしなかった (5人)	—	

その他

- ・専門のゼミのため、時々参加できなくて残念でした。来期機会があれば、できるだけ参加します。(読解 I)
- ・とてもおもしろかったと思います。(読解 II)
- ・作文の授業内容をもっと多くしてほしい。練習もたくさんしたい。(作文)
- ・いい授業だったと思う。(作文)
- ・この授業のおかげで、論文を書くための能力が高まったと思う。今回日本に来る前に、作文などを書く時、いつも緊張して、間違いやすかった。この授業を受けて、自信を得るようになった。(作文)
- ・一人一人の学生のレベルに合わせてくださってよかったです。(作文)
- ・もっと自分で書く部分が多かったら、よかったですと思います。ほかは授業の内容もよかったですし、先生もやさしかったので、楽しくいい勉強になりました。(作文)
- ・聴解の練習で、日本のニュースを聞いたりして、日本文化や経済などに対する理解が深くなりました。とてもよかったです。(聴解)
- ・最高の授業です。(会話)
- ・この授業は私にとってとても役に立ちました。先生とアシスタントの学生はとても親切でした。(漢字)
- ・いい勉強になりました。(漢字)

表6 後期初級クラスの授業内容についてのアンケート結果 (回答者4人)

質問項目 (回答者数)	評点	自由記述
1. 授業内容 とてもよかった (4人) よかった (0人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	5.0	・ビデオの資料を何回も見たいです。(みんなの日本語)
2. 授業のレベル ちょうどよかった (2人) よかった (2人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.5	
3. 授業の進度 ちょうどよかった (2人) よかった (1人) ふつう (1人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.3	・最初は私にとって少し速かったですが、もう一人の学生が来た後は少し遅くなりました。(JAPANESE FOR BUSY PEOPLE)
4. 教科書・プリント とてもよかった (3人) よかった (1人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.8	・“Japanese for Busy People” はひらがなやカタカナを知らない初心者にとってとてもいい本です。また、他のタスクもよかったです。(JAPANESE FOR BUSY PEOPLE)



5. 教え方 とてもよかった (2人) よかった (2人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.5	・先生が英語を話さないことはときどき私にとって大変でしたが、これによって日本語の習得は速くできました。(JAPANESE FOR BUSY PEOPLE)
6. どのぐらい出席したか 80%～100% (1人) 60%～80% (2人) 40%～60% (1人) 20%～40% (0人) 0%～20% (0人)	—	
7. 予習・復習をしたか かなりした (2人) すこしした (2人) ぜんぜんしなかった (0人)	—	

表7 後期中級クラスの授業内容についてのアンケート結果 (回答者 11人)

質問項目 (回答者数)	評点	自由記述
1. 授業内容 とてもよかった (9人) よかった (2人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.8	
2. 授業のレベル ちょうどよかった (6人) よかった (5人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.5	
3. 授業の進度 ちょうどよかった (5人) よかった (6人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.5	
4. 教科書・プリント とてもよかった (6人) よかった (5人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.5	
5. 教え方 とてもよかった (10人) よかった (1人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.9	
6. どのぐらい出席したか 80%～100% (10人) 60%～80% (1人) 40%～60% (0人) 20%～40% (0人) 0%～20% (0人)	—	欠席した理由 ・専門の授業やゼミがあったから (7人)

7. 予習・復習をしたか かなりした (1人) すこした (10人) ぜんぜんしなかった (0人)	-	
--	---	--

表8 後期上級クラスの授業内容についてのアンケート結果 (回答者 35人)

質問項目 (回答者数)	評点	自由記述
1. 授業内容 とてもよかった (19人) よかった (12人) ふつう (4人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな上級の文法を勉強したから、レポートを書くことに役に立ちます。(読解 I)</li> <li>・1級の文法練習もできてよかったです。(読解 II)</li> <li>・テレビのような媒体を使ってよかったと思います。(読解 II)</li> <li>・いろいろな面で勉強し、おもしろかった。文化、ビデオ、文章を理解したり、見たり、読んだり、とてもよかったと思う。(読解 II)</li> <li>・内容を膨らまして、宿題としてもっと読ませたほうがよかったと思う。(読解 II)</li> <li>・レポートを書くことに役に立ちます。(作文)</li> <li>・レポートの書き方、文法の活用に役立つと思う。(作文)</li> <li>・文法や例だけではなく、他の人(クラスの人ではない、自分ではない)がいつか書いた文章を分析したり、難しいテキストを読んだりしたら、もっと役に立ったかもしれません。(作文)</li> <li>・授業の内容にはいろいろあった。一級試験の問題や会話やテレビドラマや大学の講義などたくさんあった。(聴解)</li> <li>・もっと日本語能力試験一級レベル的な練習をさせていた方がいいのではないかと思う。(聴解)</li> <li>・いろいろ会話、講義などを聴いて、聞き取りの能力を伸ばした。(聴解)</li> <li>・私にとって、いままで日本語で話し合うチャンスがなくて、なかなか話せなかった。ふだんの言葉がいつも出てよかったと思います。(会話)</li> <li>・いろいろな場合の会話を練習して、会話の能力を伸ばした。(会話)</li> <li>・中級みたいな会話やロールプレイよりも日本社会に出たら、会社の会議とかで接する日本人と会話できる知識も練習しながら蓄積したらいいと思う。例えば、仕事の意識のような授業で、日本社会の実情と接して、自分の抽象的な意見も言えるようになるとか。(会話)</li> <li>・面白くて、役に立ったと思います。(日本文化)</li> <li>・日本の社会現象がビデオを通じてよく反映された。(日本文化)</li> <li>・いろいろな文化に触れてよかったと思う。(日本文化)</li> </ul>
2. 授業のレベル ちょうどよかった (16人) よかった (13人) ふつう (5人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人) 無回答 (1人)	4.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レベルがとてもよかったです。これからも今のままならよいと思います。(読解 I)</li> <li>・速読練習は少しやさしすぎたと思います。(読解 II)</li> <li>・もっと広い範囲にわたったほうがよいと思う。(読解 II)</li> <li>・すこしレベルを高くしてもいいと思う。(読解 II)</li> <li>・最初は簡単だと思っていましたが、この授業は留学生たちの一番間違いやすい所を教えていることに気付き、この授業を受けてよかったと思いました。(読解 II)</li> <li>・初級や中級の復習をやらせて頂いたのは良かった。一方、上級らしい新しいことを習った気はほとんどしない。(作文)</li> <li>・もっと集中して、内容の溢れた授業であればいいと思います。(作文)</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュースとか有名な学校の先生の講義を聞いてよかったと思う。(聴解)</li> <li>・留学生に合うレベルだった。(聴解)</li> <li>・すこし難しくても大丈夫だと思います。(聴解)</li> <li>・留学生のレベルにちょうどよかったと思う。(会話)</li> <li>・日本文化だけではなく、世界の共通問題のビデオを見て、専門家の意見や見解を聞いて、そのことをよく理解できた。(日本文化)</li> </ul>
<p>3. 授業の進度</p> <p>ちょうどよかった (19人)</p> <p>よかった (8人)</p> <p>ふつう (7人)</p> <p>あまりよくなかった (0人)</p> <p>ぜんぜんよくなかった (0人)</p> <p>無回答 (1人)</p>	4.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・速さも適当でした。(読解 I)</li> <li>・はやくないし、おそくないし、ちょうどいいと思う。(読解 II)</li> <li>・すこしペースを速めてもいいと思う。(読解 II)</li> <li>・少し速くしてもいいと思います。(作文)</li> <li>・すこしペースを速めてもいい。(聴解)</li> <li>・初めはちょっと遅かったのではないかと感じたが、もうちょっと前へ進んでいくにつれて、初めの授業より深くて難しい会話の内容が出てきてよかったと思う。(会話)</li> </ul>
<p>4. 教科書・プリント</p> <p>とてもよかった (18人)</p> <p>よかった (15人)</p> <p>ふつう (2人)</p> <p>あまりよくなかった (0人)</p> <p>ぜんぜんよくなかった (0人)</p>	4.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな面があるから、いい勉強になった。(読解 II)</li> <li>・留学生に対して、ちょうどいいレベルと思う。(読解 II)</li> <li>・学期末の方がよかったかもしれない。(会話)</li> <li>・本当に現代の日本の事情をよく見せることができたと思う。(日本文化)</li> <li>・いろいろな課題があるから、たくさん勉強になった。(日本文化)</li> <li>・分かりやすく、とてもよかった。(日本文化)</li> </ul>
<p>5. 教え方</p> <p>とてもよかった (24人)</p> <p>よかった (10人)</p> <p>ふつう (1人)</p> <p>あまりよくなかった (0人)</p> <p>ぜんぜんよくなかった (0人)</p>	4.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生は丁寧で細かく文法などの知識を教えてくれた。(読解 I)</li> <li>・とても良かったです。教え方とかプリントなどで十分に説明されて、本当に良かったです。(読解 I)</li> <li>・とてもよかった。学生によって違う教え方を使っていた。(読解 II)</li> <li>・よかったと思う。やさしい先生だ。(読解 II)</li> <li>・説明してもらいながら聞いたので、分かりやすかった。(聴解)</li> <li>・間違ったとき、丁寧に直してくれた。とてもよかった。(会話)</li> <li>・本当に良かったです。教えてもらって、すぐ覚えていい勉強になりました。(日本文化)</li> <li>・先生は学生のレベルに合わせた教え方をするから分かりやすい。(日本文化)</li> <li>・ビデオを見ながら説明してよかった。(日本文化)</li> </ul>
<p>6. どのぐらい出席したか</p> <p>80%～100% (31人)</p> <p>60%～80% (2人)</p> <p>40%～60% (0人)</p> <p>20%～40% (2人)</p> <p>0%～20% (0人)</p>	-	<p>欠席した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病気のため (3人)</li> <li>・専門の授業やゼミがあったから (2人)</li> <li>・国から家族が来たから (1人)</li> </ul>
<p>7. 予習・復習をしたか</p> <p>かなりした (9人)</p> <p>すこしした (26人)</p> <p>ぜんぜんしなかった (0人)</p>	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の前に資料を配るのは予習によかった。(読解 II)</li> <li>・予習したら、授業の時楽だと思います。「備えあればうれいなし」と思います。(読解 II)</li> <li>・もっと予習、復習したほうがよかった。(読解 II)</li> <li>・予習はあまりしませんでした。最初はこの授業は簡単だと思いました。しかし、ちょうど私の間違いやすい所を指摘して、教えている重要な授業と思いました。(作文)</li> <li>・予習したほうが授業の時、楽だと思う。(作文)</li> <li>・もっと難しい文献を習いたかった。(作文)</li> <li>・授業で習ったものは役に立ったと思いますが、ペースが少し遅くて、一学期でもっと多くの内容を学べると思います。(作文)</li> </ul>

- 予習したら、授業の時は楽だと思う。復習したら、いままで分からない言葉が覚えられてよかった。(聴解)
- もっと予習・復習したほうがいいと思う。(聴解)
- どこからでもアクセスして、練習できるサイトがあるので、いいと思います。(聴解)
- もっと復習したほうがいいと思う。(会話)
- この授業はたくさん役に立つアイデアを考えさせた。(日本文化)
- もっと予習・復習したほうがいいと思う。(日本文化)
- 分からなかったところをもし調べておいたら、授業の時楽だと思う。(日本文化)

#### その他

- 授業の前にいつも小テストがあるから、勉強したものを強めることができた。それに先生がテストの間違いを指摘するから、いい勉強になった。この授業を通して日本語のレベルを高められた。(読解 I)
- 学生の質問に対して先生はいつも熱心に答えてくれました。学生が勉強で出てきた困難をうまく解決しました。(読解 II)
- 授業の時、一級とつながるものが出てくるのが、単語や文法などに役立つと思います。経済・文化・教育などのいろいろな面にふれてよかったと思います。(読解 II)
- 一級能力試験に対応する授業を行えばいいと思う。(読解 II)
- 今までやった読解は日本語能力試験向けだったから、最初に自分でテキストを読んでから質問に答えるという授業のやり方に慣れるにはちょっと時間がかかった。それでも別の読解の授業のやり方に接することは良かったと思う。(読解 II)
- この授業でいろいろな日本語の表現を勉強したから、正しくレポートを書けるようになりました。(作文)
- パソコンを使うのも大事だけど、漢字をより身につけるためには手書きの方がいいと思う。(作文)
- 適度に課題を出してくださって、とてもよかったと思います。この授業はとても勉強になりました。もちろん先生の説明は重要ですが、学生が自分自身でよく勉強しないと、勉強にならないと思う。(作文)
- この授業では、主にレポートの書き方について教えてもらいましたが、他の文体の書き方も含めて教えた方がいいと思います。(作文)
- 講義を聞くのはこの授業で一番好きな内容です。日本の大学の講義の中の先生の話し方が分かるようになった。(聴解)
- この授業で先生は親切に教えてくれて、いろいろな勉強になりました。授業の速さはもう少し速くした方がいいと思います。(聴解)
- とてもいい授業だったと思います。しかし、専門科目でレポートと発表がたくさんありましたので、欠席が多かったです。申し訳ないです。今学期は日本に来てはじめての学期だったので、いろいろ不足している点がたくさんありましたが、次の学期にはもっとがんばってちゃんとしていきたいと思います。(聴解)
- 専門の授業のためなかなか出席ができなかったこと、本当に申し訳ありません。授業の内容に関しては新聞を読んでまとめる作業がすごくよかったと思います。(聴解)
- いろいろな場面が出てよかったと思う。ニュースの聞き取りが自分の力を伸ばすために役立つと思う。先生の講義を聞くことを通して、言葉と言葉のつながりにふれてよかったと思う。(聴解)
- 一期一会の内容がよかった。このようなものを多く聞いたほうがいいと思う。テレビドラマは字幕があったらよかった。(聴解)
- 多分受講生を分けたり、レベルの違う課題を与えたりしたら、いいと思います。あるいは、皆が同じレベルだったら、全体的にペースを速めてもいいと思う。(聴解)
- この会話の授業を受けてから、自分自身にとって、しゃべることに役立つと思います。とりあえず生活の言葉をちゃんと覚えるのは大切だと思いました。(会話)
- 自分の会話の能力がだんだん伸びてきたと思う。(会話)
- 一つ一つのテーマについてビデオを見て、見つけた知識はばらばらで、一つのテーマが終わって少しまとめをした方がいいと思います。(日本文化)
- 先生は知識が広いから、学生たちはたくさん勉強した。(日本文化)
- ビデオで現実の社会を見て、世界はどのように発展していくのかが分かった。宮崎のアニメ、金八先生のドラマ、及び格差と環境のようなものを見て、いろいろ勉強になった。(日本文化)
- 先生がやさしい方でよかったと思う。いままで日本の経済だけではなく、世界の経済についてもよく分からなかったので、授業を通して、いろいろな面にふれて、勉強になりました。(日本文化)
- 後期の授業を振り返って見ると、内容もおもしろかったし、日本の現代文化について、いろいろ知

識を身につけられた。とてもいい授業だと思う。前期またとりたい。(日本文化)

- 漢字のクラスは週に一回だけでは足りないかもしれないと思う。二回なら丁度良いかもしれない。(漢字)
- とてもよかったです。(漢字)

表9 前期のカリキュラムについてのアンケート結果(回答者17人)

1. 日本語課外補講をどこで知ったか (複数回答可)	オリエンテーション出席者(12人) • オリエンテーションの掲示を見た(5人) • 友だちにきいた(4人) • 学部の教員にきいた(1人) • その他(2人, *その他の内容は無記入) オリエンテーション欠席者(5人) • 友だちにきいた(2人) • 留学生センターの教員にきいた(1人) • その他(1人, *その他の内容は無記入) • 無回答(1人)
2. 授業時間帯の希望	いつでもいい(3人:初級1人, 中級2人) 専門の時間割がわからないのでこたえられない(10人: 初級1人, 中級4人, 上級5人) 午前1・2限(3人:初級1人, 中級2人) その他(1人:中級1人, *その他の内容は無記入)
3. 授業科目数の希望	今のままでいい(13人:初級3人, 中級8人, 上級2人) 多くしてほしい(4人:中級1人, 上級3人) • 会話(上級) • 漢字(上級)
4. 授業科目の希望	今のままでいい(13人:初級3人, 中級7人, 上級3人) 新しい科目を作ってほしい(4人:中級2人, 上級2人) • 日本の文化, 歴史(中級) • 日本人との交流の時間(上級)

その他

- 聴解の時間を多くしたほうがいいと思います。(初級)

表10 後期のカリキュラムについてのアンケート結果(回答者10人)

1. 日本語課外補講をどこで知ったか (複数回答可)	オリエンテーション出席者(8人) • オリエンテーションの掲示を見た(5人) • 留学生センターの教員にきいた(2人) • 友だちにきいた(1人) オリエンテーション欠席者(2人) • 無回答(2人)
2. 授業時間帯の希望	いつでもいい(1人:中級1人) 専門の時間割がわからないのでこたえられない(5人:初 級1人, 中級2人, 上級2人) 午前1・2限(1人:中級1人) 午後3・4限(1人:初級1人) その他(夕方がいい1人:中級1人, 帰国する1人:上級 1人)
3. 授業科目数の希望	今のままでいい(10人:初級2人, 中級5人, 上級3人)
4. 授業科目の希望	今のままでいい(10人:初級2人, 中級5人, 上級3人)

その他

- 都合のため、漢字の授業を取れなかったですが、日本語相談の時間に指導を受けられてよかったです。(上級)

まず、各クラスの授業内容に関するアンケート結果については、すべて4.0点以上、全体の約3分の2が4.5点以上となっており、概ね良い評価を得ていると言ってよいだろう。以下、クラス別に、今後の参考となると思われる点をいくつか取り出しておきたい。

初級クラスでは、後期に週2コマのクラスを試験的に設けることにしたが、授業内容や使用教科書への満足度も高く、学生のニーズに合ったクラスを提供できたものと思われる。

中級クラスでは、前期の自由記述欄(表4)に、日本の文化をもっと学びたかったという意見があり、カリキュラムに関するアンケート(表9)の回答の中でも、日本の文化、歴史に関する科目を設けてほしいという意見が見られる。これらはいずれも短期留学生からの回答である。日本語力が上級レベルの短期留学生については、上級クラス「日本文化」あるいは教養教育「日本事情」で日本の文化を学ぶ機会があるが、日本語力が初級、中級レベルの短期留学生向けの科目は開講されていないことから、このような意見が出た可能性がある。

上級クラスでは、授業のレベルや進度について「やさしすぎた」「もう少し速めたほうが良い」といった意見が見られた。その理由として、一つには、受講者の日本語力に差があることと、もう一つには、論理的にわかりやすく表現する力を伸ばすことよりも、難しい語彙や表現を新たに習うことを期待していた受講者がいたのではないかと考えられる。

次に、カリキュラムに関するアンケート結果については、前期、後期ともに、日本語課外補講に関する情報は、「オリエンテーションの掲示を見た」という回答が最も多く、多言語版の掲示が有効に機能していることがわかる。また、授業時間帯については、「専門の時間割がわからないのでこたえられない」という回答が最も多いが、午前と午後では、午前を希望する学生のほうがやや多いようである。授業科目数や内容については、今のままでいい」という回答がいずれの期も最も多くなっているが、科目数の増加や新科目の開設を望む声もある。特に中級クラスの「会話」の新設については、以前から度々要望の声が上がっている。また、カリキュラムに関するアンケートは日本語課外補講受講者のみに実施しており、総合日本語コース受講者とは分けて実施しているが、総合日本語コース受講者からは上級の語彙や文法を学べる科目を望む声が、2006年度渡日の学生、2007年度渡日の学生からも出ており、また、以前実施した日本語課外補講アンケートの中でも同じような意見が見られる。

## 8 おわりに

2007年度の新たな取り組みとして、後期の初級クラスに、通常の週11コマのクラスの他に、週2コマで日常生活に必要な会話を中心に学べる別クラスを設けたことが挙げられる。これは、後期に初めて高岡キャンパスからの受講希望があったことから、急遽対応することになったものである。高岡キャンパスとは距離的に離れているため、学生が週2回しか五福キャンパスに通えないということ、また、非漢字圏出身の短期留学生であり、仮名も全くの未習であったため、仮名習得が前提となっている『みんなの日本語』をメインテキストとする、通常の初級クラスの授業への参加は困難であると判断された。そこで、日本語研修コースの協力を得て、臨時に別クラスを設けて対応することにしたが、このクラスに五福キャンパスの短期留学生も加わることになり、これまで時間的制約等で日本語を学べなかった留学生にも、日本語の学習の機会を提供することができた。今後も日本語未習の短期留学生が本学に留学する可能性が高いと予想されるため、2008年度は、週2コマの初級クラスを当初からカリキュラムに組み込む計画である。

予算的に厳しい中、新たな授業科目を設けるには、他の日本語プログラムとの連携が不可欠である。2005年度より、初級クラスと中級クラスにおいて、一部の授業科目を大学院入学前予備教育である「日本語研修コース」との合同授業とすることになり、2007年度で3年目を迎えたが、これまで大きな支障もなく、それぞれの日本語プログラムの受講者がお互いに良い刺激を与え合っている場面が多いように見受けられる。そこで、2008年度はさらに、日本語研修コースとの合同授業を増やすことにより、

新たに、初級クラスに上述の週2コマのクラスを設けること、日本語研修コースの中級クラス「会話」に日本語課外補講の学生も出席できるようにすること、受講者数が多い上級クラスの科目を充実させることを予定している。

今後も、大学を取り巻く状況や受入れ留学生のニーズに即した教育を行うために、日本語プログラム間の連携をより一層強化するとともに、教育改善を目的とした調査研究及び教材開発にも力を入れたいと考えている。